私が棄てた女（1969）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 日本
色彩 B&W/C
時間 116分
初公開日 1969/09/03
公開情報 日活

【解説】
遠藤周作の『わたしが・棄てた・女』を「キューポラのある街」の浦山桐郎監督が映画化。幸せな人生のためと田舎娘を棄て、出世の道を選んだ男の末路を虚無的とも諦観ともとれる眼差しで描き、愛や人生について静かに問う名作。自動車の部品会社に勤める吉岡努は、自らの出世のため、専務の姪のマリ子との結婚を控えていた。ある夜クラブの女から、吉岡が学生時代に遊んで棄てたミツという女が中絶したとの噂を聞いた。吉岡は今でも責任を感じつつ、マリ子と盛大な結婚式を挙げるのだったが……。

【クレジット】
監督 浦山桐郎
企画 大塚和
原作 遠藤周作　『わたしが・棄てた・女』
脚本 山内久
撮影 安藤庄平
美術 横尾嘉良
深民浩
編集 丹治睦夫
音楽 黛敏郎　Toshiro Mayuzumi
出演 河原崎長一郎　吉岡努
浅丘ルリ子　三浦マリ子
小林トシエ　森田ミツ
加藤武　森田八郎
岸輝子　森田キネ
夏海千佳子　深井しま子
加藤治子　三浦ユリ子
小沢昭一
露口茂
早野寿郎
佐野浅夫
辰巳柳太郎
江守徹
大滝秀治
遠藤周作

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.